

特別支援学校における 進路指導(就労支援)の取組

都立青鳥特別支援学校の取組から

平成21年8月27日

岩井雄一

青鳥特別支援学校の歩み

- 昭和22年 国立教育研修所内に品川区立大崎中学校分教場として始まる
- 昭和25年 都立青鳥中学校
- 昭和32年 都立青鳥養護学校(高等部設置)
- 昭和33年 寄宿舍設置
- 昭和47年 梅が丘分教室設置
- 平成 2年 久我山分教室(平成4年に分校)
- 平成 9年 都市園芸科設置(平成21年3月閉科)
- 平成22年(予定) 高等部普通科単独校となる

青鳥特別支援学校 高等部普通科の取組

教育課程の類型化

生徒の実態に応じた学習内容や集団編制

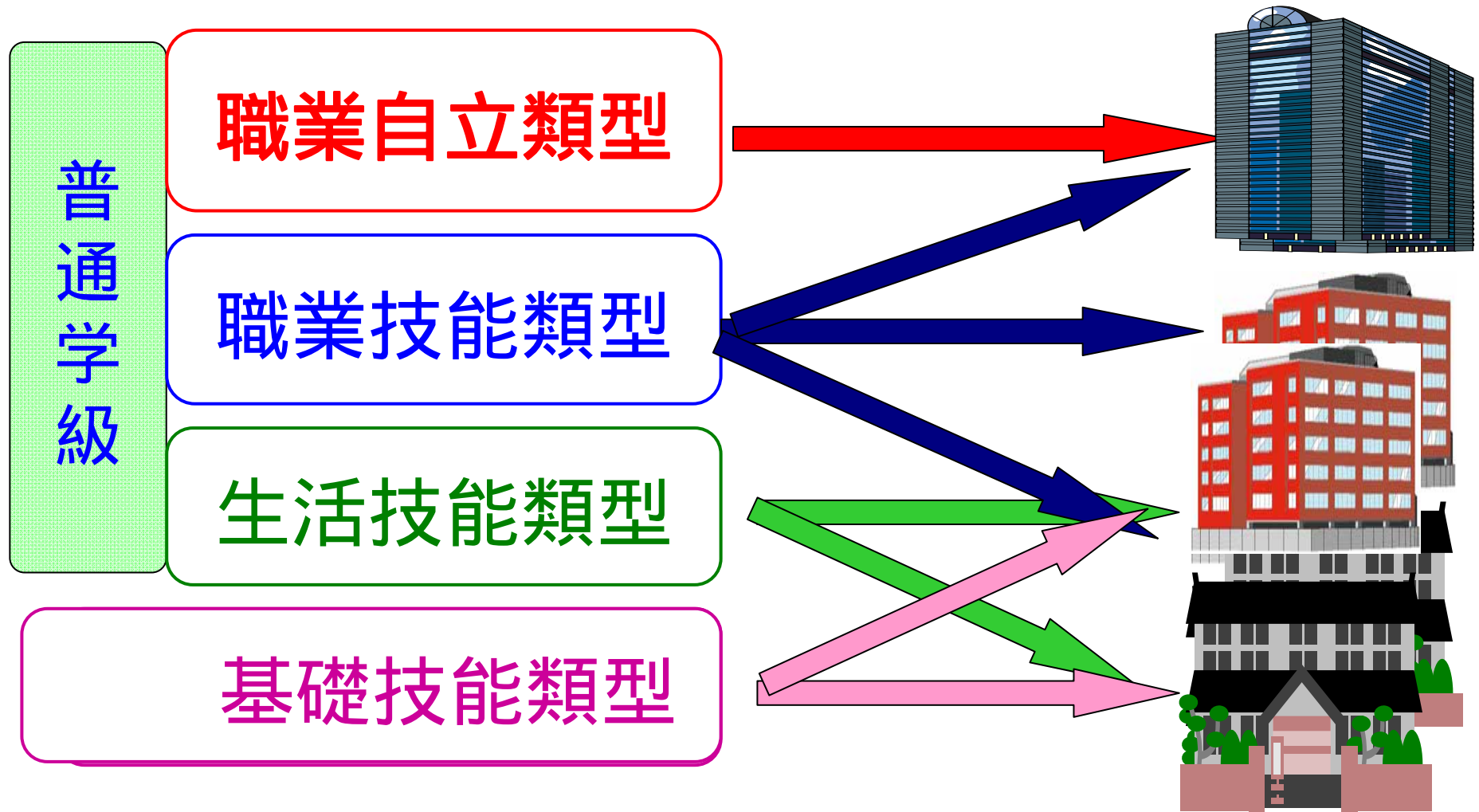
新しい作業学習(進路先に学ぶ)

流通・サービス(事務、清掃、接客)

現場実習(就業体験)

職場見学、職場体験(短期 長期2～3W)

類型化された教育課程



類型化された教育課程－類型間の比較－

職業自立	作業学習 8		職業 4		情報 1	道徳 1	国語 2	社会 1	数学 2	理科 1	音楽 1	美術 1	保健体育 4		家庭 2	総合 1	H R 1
職業技能	作業学習 6		職業 2		国語 1	数学 5	音楽 2	美術 2	保健体育 3	家庭 3	生活 単元 3	日常生活 3		総合 1	H R 1		
職業生活	作業学習 1		職業 1		国語 1	数学 1	音楽 2	美術 2	保健体育 3	家庭 2	生活 単元 3	日常生活 8		総合 1	H R 1		
基礎技能	作業学習 4		音楽 2	美術 2	保健体育 4	家庭 2	生活 単元 3	日常生活 8		自立活動 4		H R 1					

職業の充実

個別指導の充実

新たな作業学習の展開

～ 就労先確保・豊かな職業生活を実現～

これまでの主な作業学習

木工 紙工 陶芸 (ものづくり)

一般企業等



就労現場を反映した作業
今後期待される分野
職業スキル向上

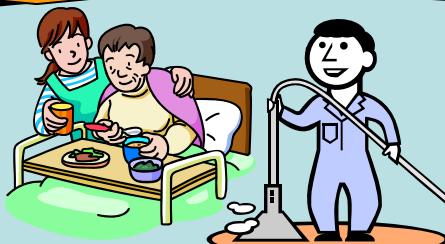
卒業・就労



事務処理・流通



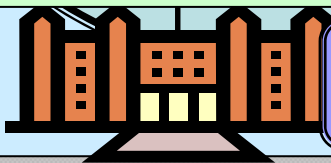
喫茶系



介護・清掃系



食品系
(調理補助)



高等部・作業学習の再構築

接客



事務部門(ラベルや伝票)



清



ブルーバードカフェ



加工



現場実習(体験学習)の取組

- 1年生 職場見学、現場実習壮行会・報告会
- 2年生 現場実習(2W) × 2
- 3年生 現場実習(2W)(3W) +
福祉事務所訪問、求職登録(ハローワーク)
個別移行支援計画(支援会議)・アフターケア

多様な就業体験 (インターンシップの例)

例1	<p><u>ニーズを高めるインターンシップ</u></p> <p>7月 職場見学(10名程度で仕事の見学) 2月 1日インターンシップ(5名程度で仕事体験)</p>
例2	<p><u>体験を広げるインターンシップ</u></p> <p>6月 1日インターンシップ / 現場実習(2週間) 10月 現場実習(2週間)</p>
例3	<p><u>進路決定に向けたインターンシップ</u></p> <p>6月 現場実習(2~3週間) 11月 現場実習(2~3週間)</p>

採用選考・採用決定

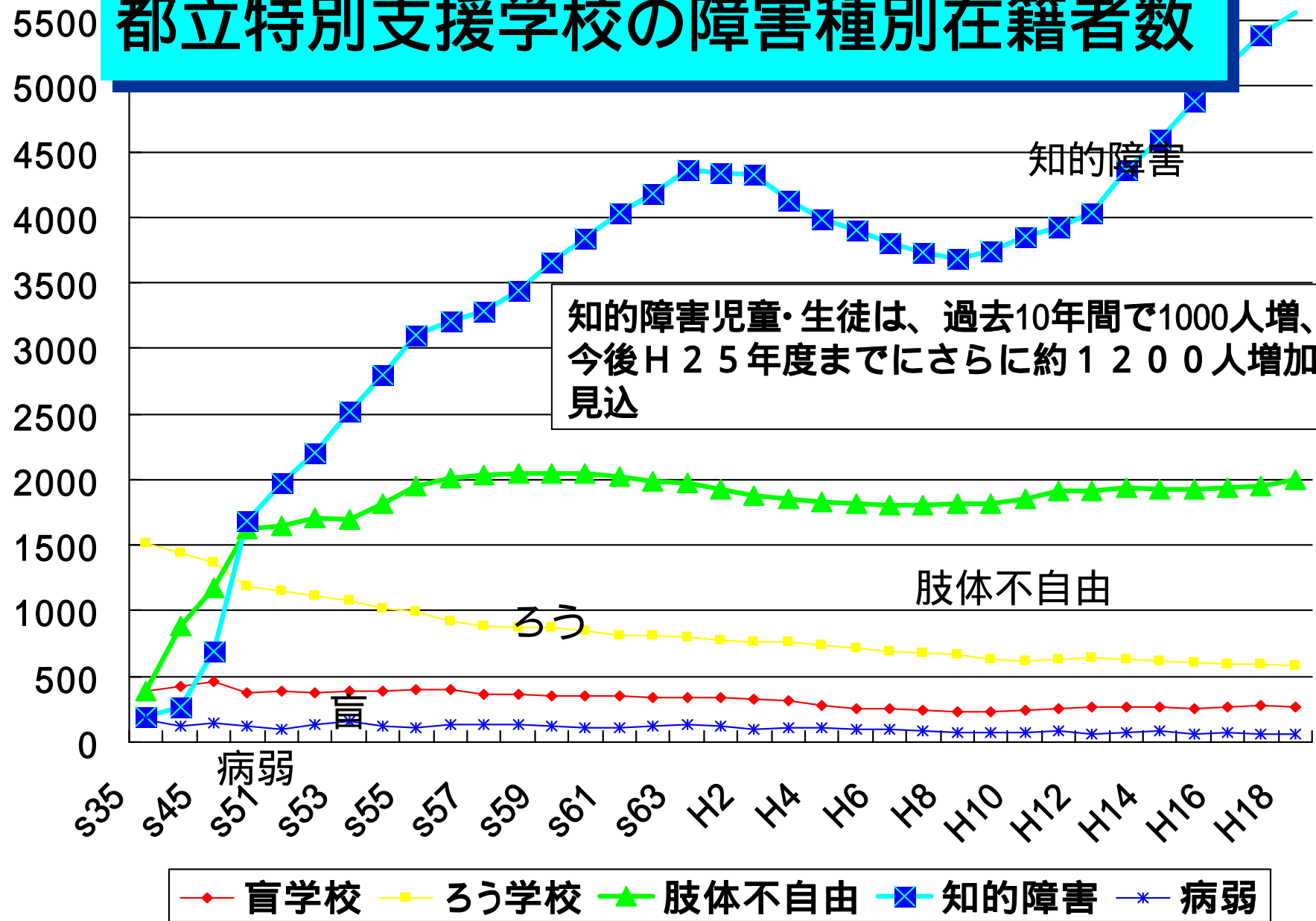
東京都知的障害特別支援学校就業促進研究協議会の取組(1)

- 企業向け就業促進啓発資料の作成
- 就業促進セミナーの開催
- 共同企業開拓
- 企業対象に窓口校を設定
現場実習等の調整

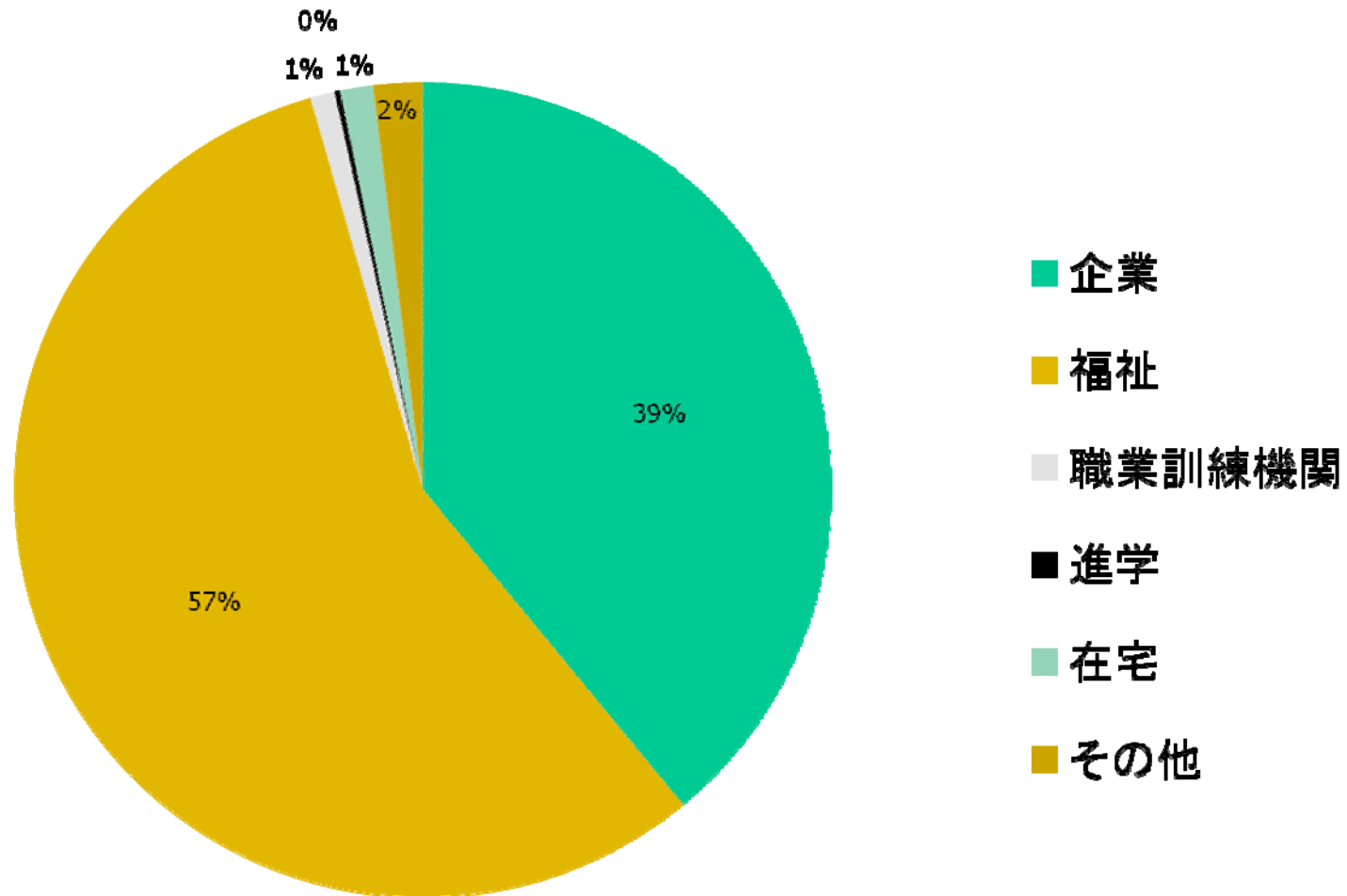
東京都知的障害特別支援学校就業促進研究協議会の取組(2)

- 求人情報、雇用動静等の情報収集と共有化
- 進路指導に関する情報交換
- 進路指導に関する研修会の開催
- 就業促進に関する調査研究

都立特別支援学校の障害種別在籍者数



都立知的障害特別支援学校 平成20年度卒業生進路状況



都立知的障害特別支援学校における 就業促進等の取り組みの実際と課題

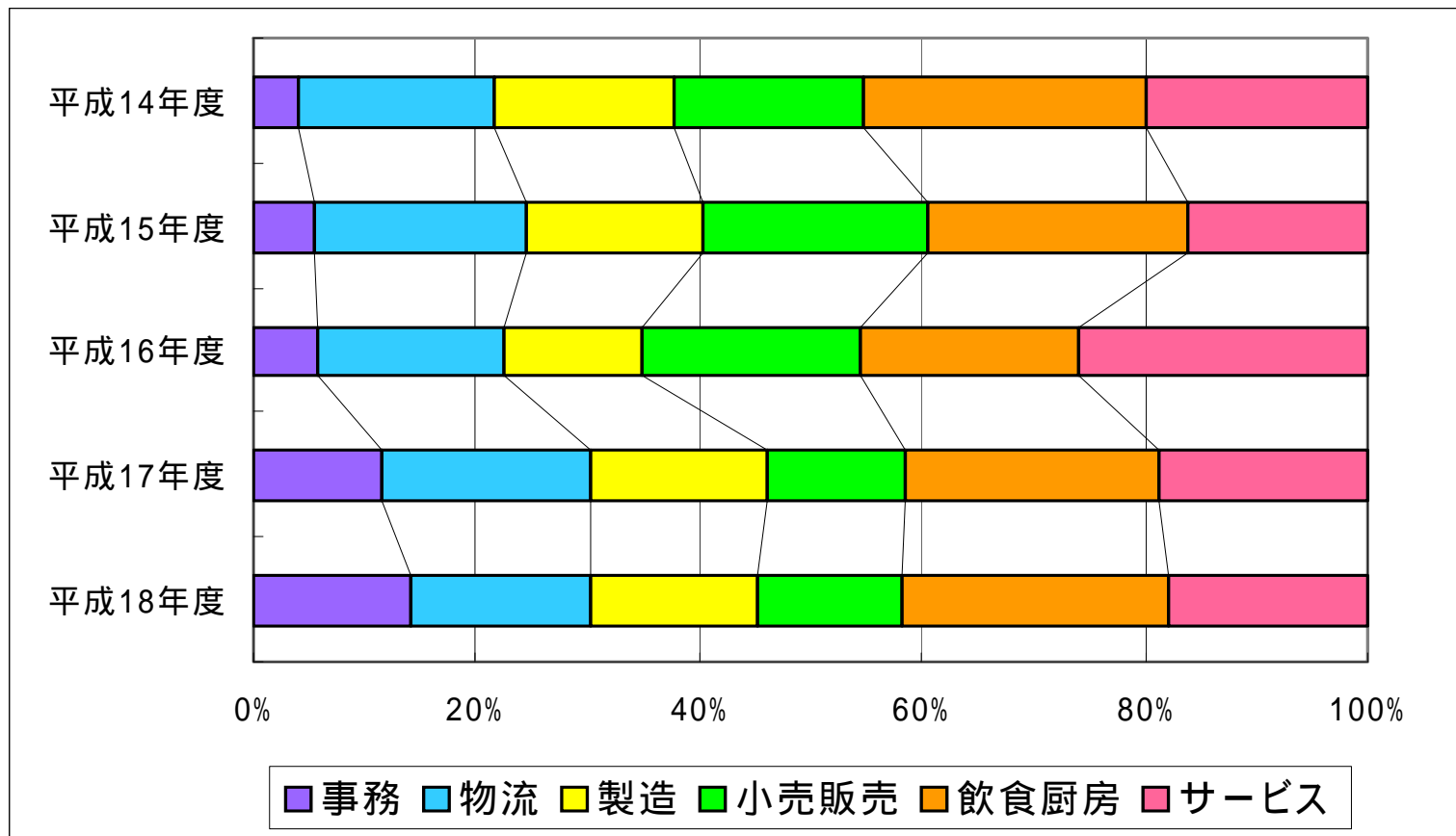
～ 知的障害特別支援学校高等部の進路指導の現場から～

年度	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
企業就労 数 /卒業生総 数 (東京都)	211 /696	223 /705	198 /649	214 /709	211 /702	224 /795	243 /805	304 /904	306 /946	345 /966	361 /923
就業率 (%) (東京都)	30.3	31.6	30.5	30.2	30.1	28.1	30.1	33.6	32.3	35.7	39.1

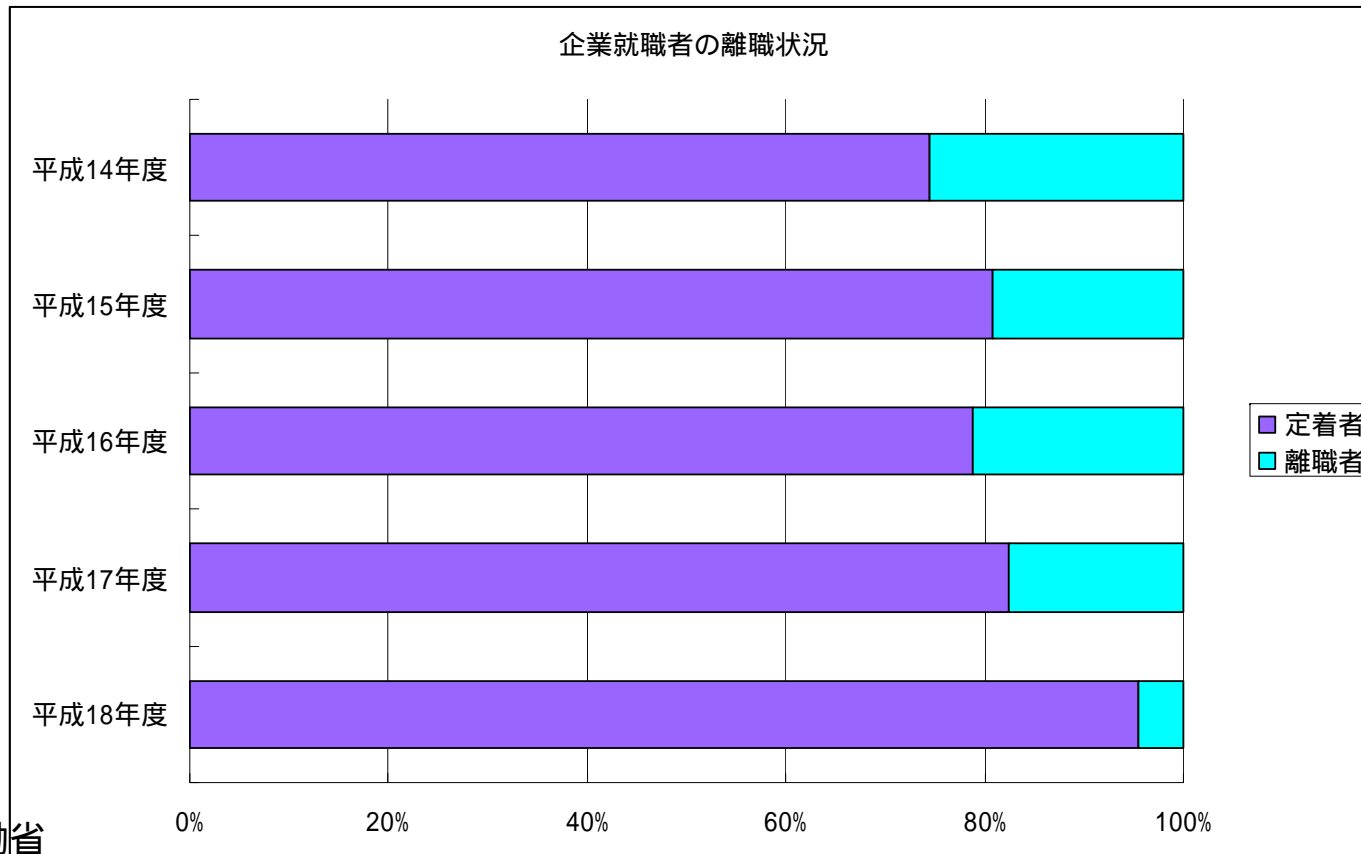
高等部生徒が実習で取り組む仕事内容

事務系作業	パソコン入力、社内メール等の仕分け、庶務・軽作業等
製造作業	ライン作業、成型機操作等
物流部門諸作業	入庫検品・棚入、ピッキング、発送準備・梱包作業等
小売販売周辺作業	商品のパック・袋詰、品出し、商品の陳列・整理、接客等
飲食店・厨房周辺作業	店内フロア清掃、調理器具・食器類等の洗浄作業、盛り付け、調理補助、接客等
サービスの諸作業	クリーニング、リサイクル、清掃、介護・用務等での補助作業

5年間の卒業生 企業就職者の職域の変化



5年間の卒業生 企業就職者の離職状況



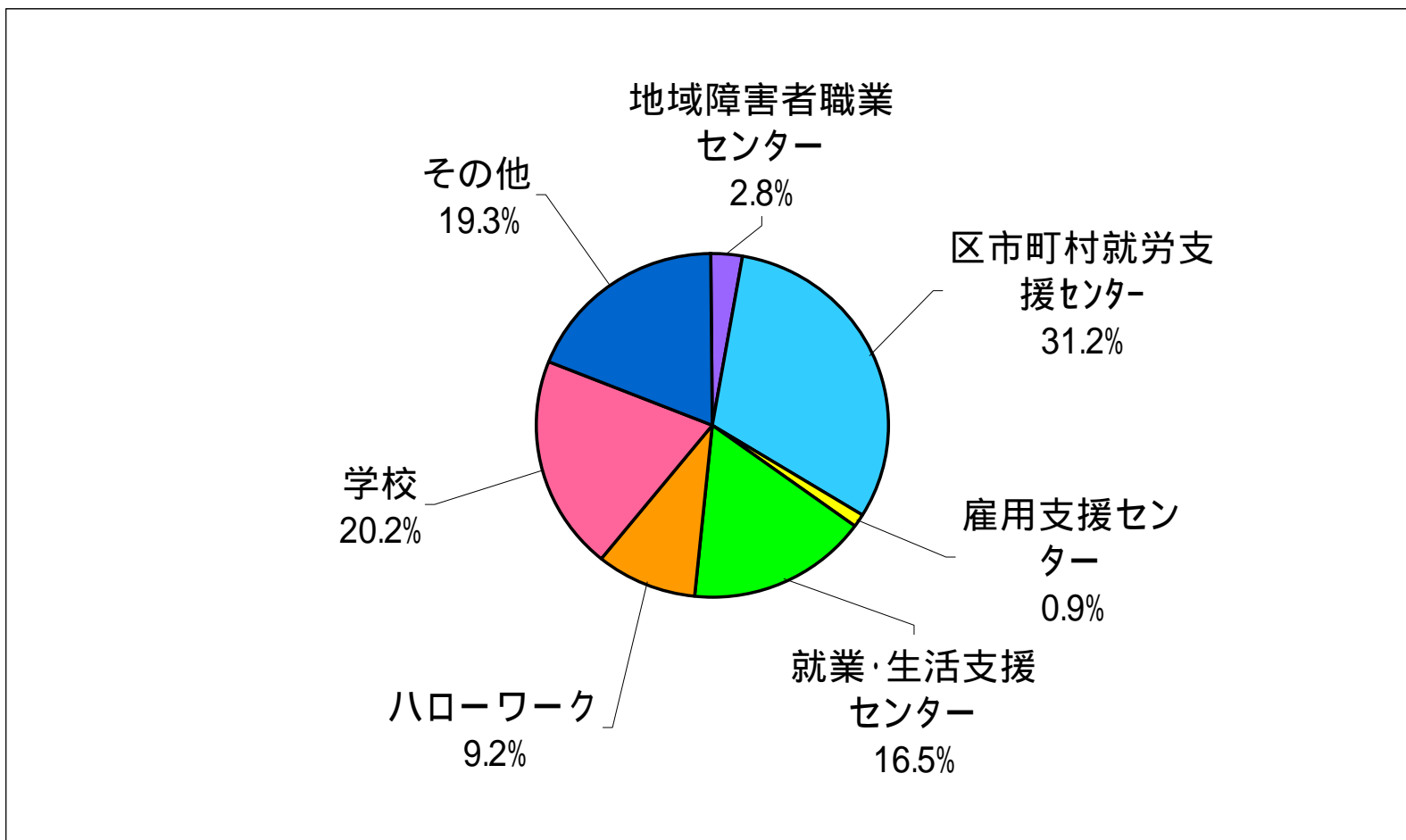
H19年度厚生労働省

自立支援プロジェクト調査研究

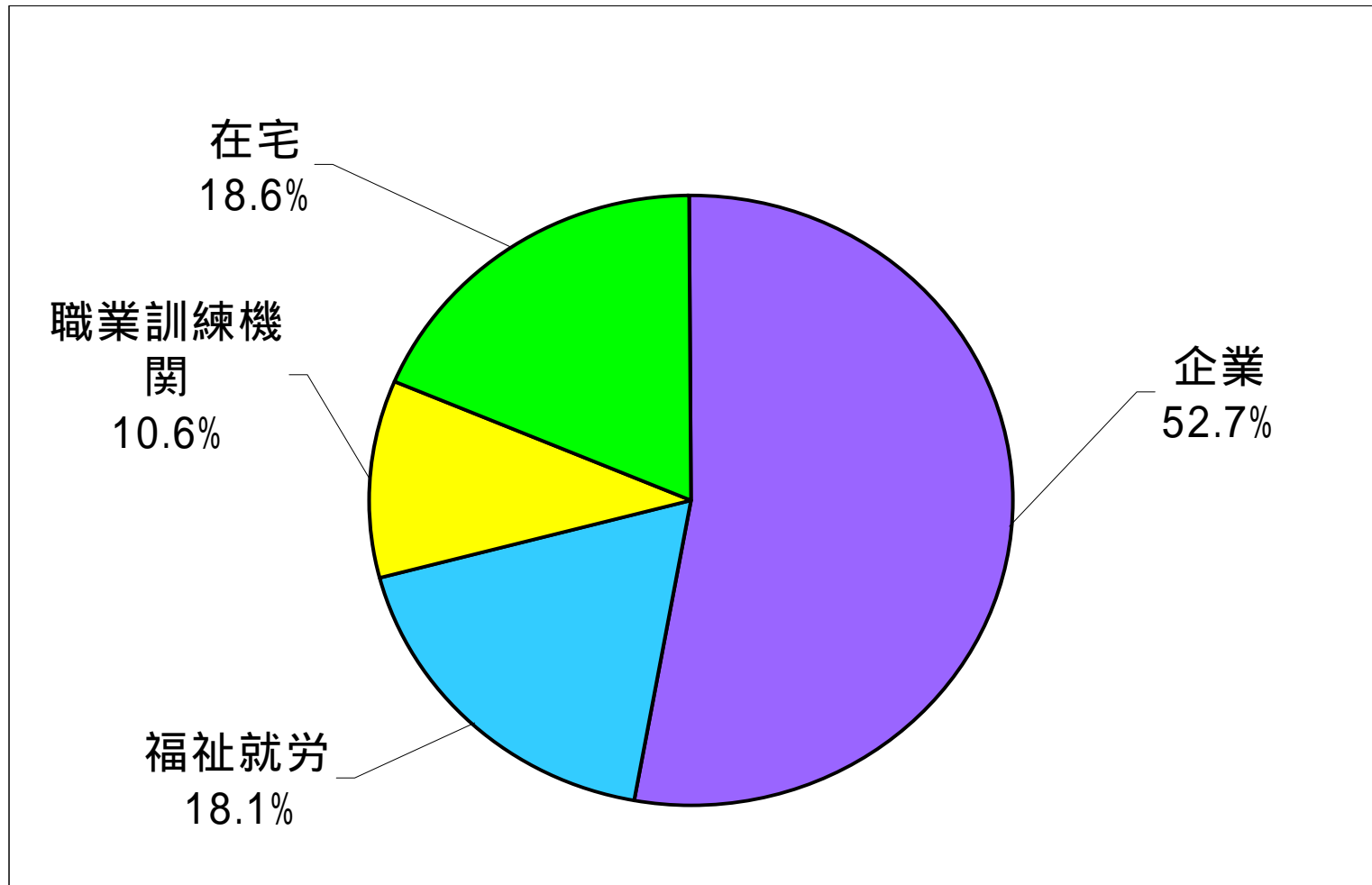
「福祉、教育、労働の連携による知的障害者の就労・生活支援」より

(東京都社会福祉協議会)

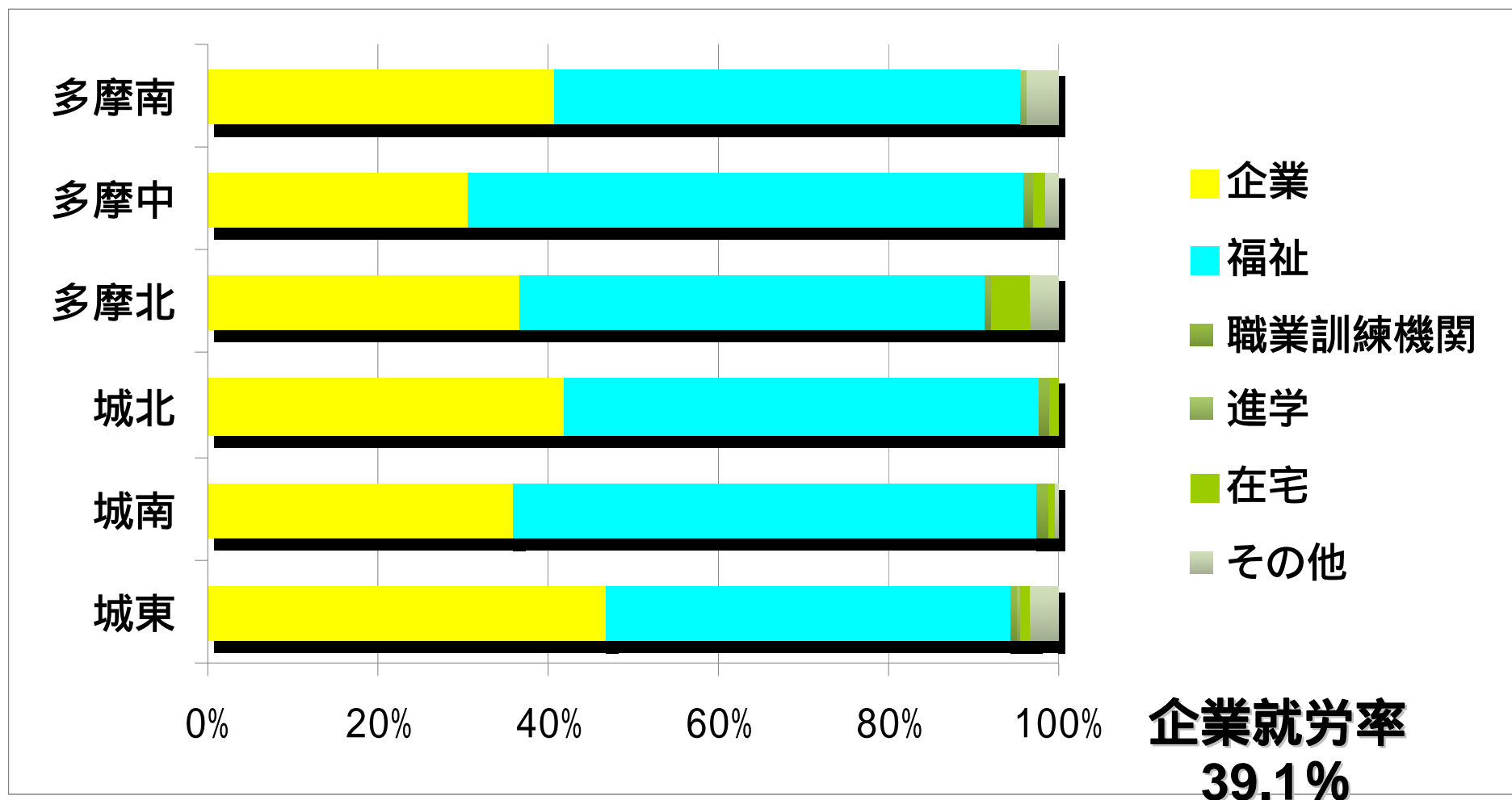
5年間の卒業生 離職者の中心的な支援機関



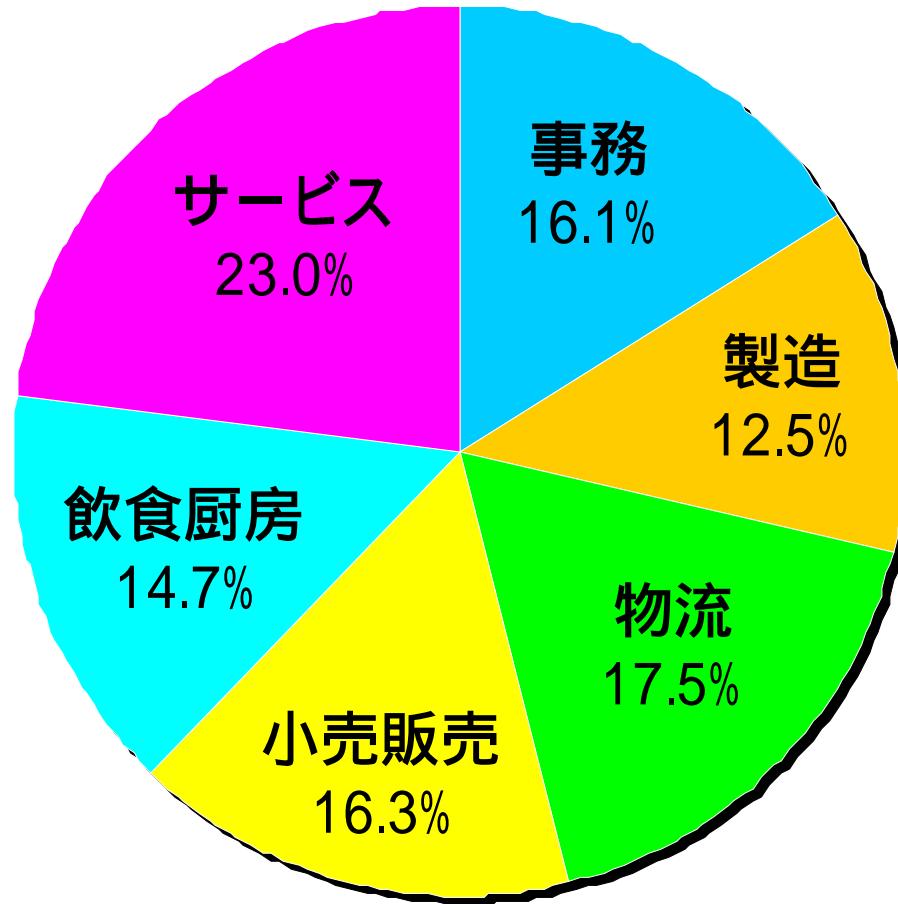
離職者の現在の移行先



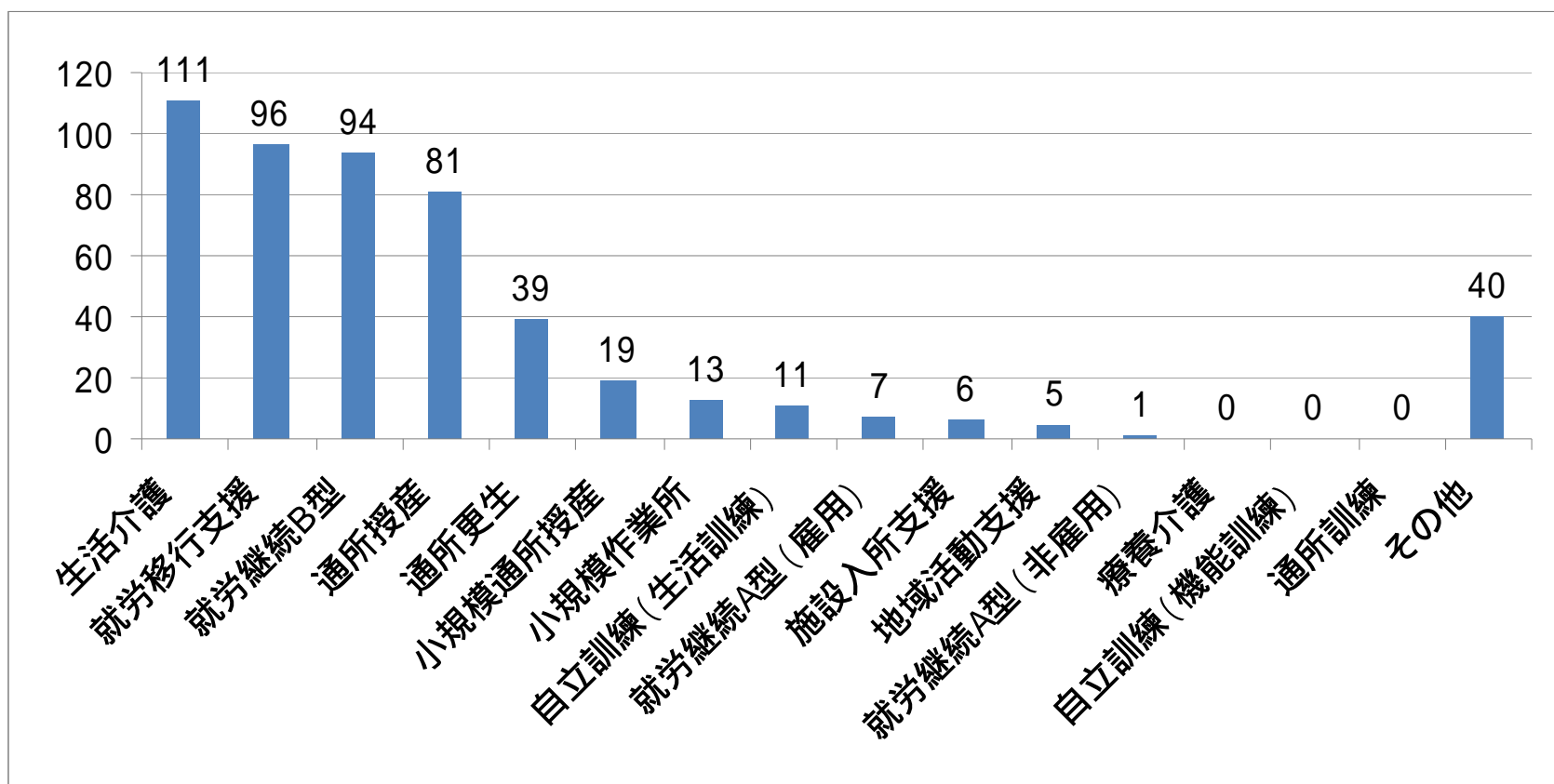
平成20年度進路状況



平成20年度 就業状況



平成20年度福祉就労の状況



東京都教育委員会の取組

- 特別支援学校における就労支援事業
 - ・ 民間の活用による企業開拓
 - ・ 新たな就労支援体制について
 - ・ 企業向けセミナーの実施
 - ・ 理解啓発ビデオの作成
 - ・ 東京都教育庁における特別支援学校生徒の現場実習

就労支援事業の組織

特別支援学校就労支援委員会

企業開拓部会

学校ニーズの把握、企業開拓委託、情報の有効活用

理解啓発部会

企業向けセミナーの実施、啓発資料(DVD)の作成

調査研究部会

生徒の社会参加と自立を目指す諸課題の検討

作業学習技能検定の取組

知的障害特別支援学校における

作業学習技能検定の実施

- 清掃技能検定
- 喫茶サービス技能検定
- パソコン技能検定

いずれも業界の協力を得て実施

その他全国的には、自動車運転免許、フォークリフト等がある。

全国特別支援学校長会 平成20年度調査から

- 公的機関の受け入れについて
平成19年度公的機関に就職した生徒
いる 72校(8.7%) いない 765校(91.4%)
- 公的機関における現場実習を行っているか
いる 366校(44%) いない 465校(56%)
主な実習先 市役所・県庁、 図書館、
ハローワーク、 大学、 役場等

東京都特別支援教育推進計画



知的障害が軽い生徒を対象とした
特別支援学校高等部(就業技術科)を設置

板橋学園・東部地区学園
(第2次実施計画)

今後の課題

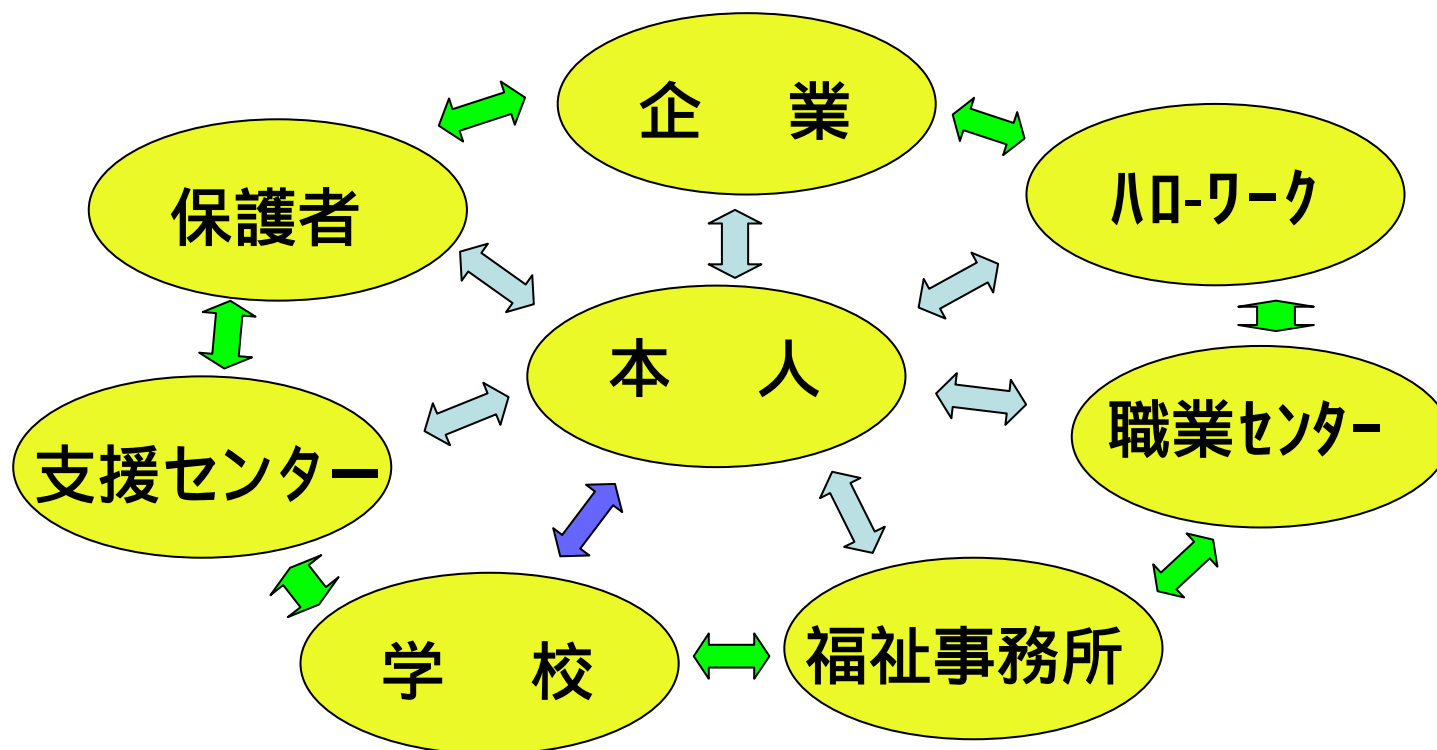
- **就業体験の機会拡大**
選択肢の体験・小中段階からの多様な就業体験 職域の拡大・支援方法の開発と共有
- **「個別の教育支援計画」の活用**
関係機関との連携強化による生活支援の充実と家族支援の視点、個別の指導計画と連動した支援者・支援機関による支援内容・方法の共有化

個別移行支援計画と移行支援会議

- 本人、保護者、就職先(人事担当者・現場担当者)、学校、ハローワーク、職業センター、就労支援センター、福祉事務所などの関係者が出席し、本人の特長や障害の特性、対応、必要な支援等を確認し、就職後の職業生活が円滑に行えるよう相談、あるいは支援の役割分担、困ったときの相談先等を確認する会議

個別移行支援会議

支援と相談・相互協力連携



全国特別支援学校長会の調査から

- 個別移行支援計画の作成

作成している 704校(82%)

作成していない 153校(18%)

- 支援会議の開催

全員実施 198校(24%)

必要な場合実施 572校(69%)

その他 63校(7%)

ご清聴ありがとうございました。

今後とも障害のある人たちの
就労を推進し、充実した支援のために
協力していきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。